

区分	基本目標	展開する施策	意見 No.	意見の内容 (議事録より抜粋)	意見の概要	担当課	対応区分	対応状況 (対応・検討の内容)
全体意見			1	・ 令和7年に向けての色々な数値目標があるが、事業や施策において、まだまだ先が見えないコロナの影響や状況に合わせて、数値目標を変えていかなければならない必要があると考える。【議事録P14】	コロナの感染状況に合わせた数値目標やKPIの見直し	政策推進課	④検討中	新型コロナウイルス感染症の流行により、全国的に地域経済が大きな影響を受けているほか、企業活動やイベントの自粛等による人と人との交流機会の減少や、妊娠届の受理件数が過去最少となったことを背景とした出生数の減少が懸念されるなど、その状況は、当市においても同様であると推察しており、第2期八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策についても少なからず影響が生じるものと考えております。 第2期八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策や数値目標・KPI等の見直しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の終息を見据えながら、6月18日に国において閣議決定されました、「まち・ひと・しごと創生基本方針2021」を参考に、テレワーク等の「新しい働き方」やデジタル・トランスフォーメーションの推進などの施策の追加について関係課と協議し、改訂の時期について検討してまいります。
個別意見	基本目標1 多様な就業機会を創出する、これを支える人材を育て活かす	【施策1】地域産業の成長・発展 ①農水畜産業の競争力強化	2	・ 株式会社を立ち上げている農業の若者が出てきていることは良いことだと思った。市も若者応援として、広報等に取り上げ、若者が出ることによって、若者がそれを見て、その職も良いかもしれない、楽しいかもしれないと、理解が進むのかなと思った。【議事録P18】	若手新規就農者のPR	農業経営振興センター	①対応済	八戸圏域連携中枢都市圏の連携事業として、新規就農支援策に係る情報を一元的に各市町村のHP上に掲載するとともに、国の情報誌（東北農政局青森県拠点発行（同局HPにも掲載）「青森県内における新規就農者の取組」）へ市内新規就農者の取組事例を掲載し、PRを図っております。また、「広報はちのへ」への掲載を検討するとともに、引き続き、様々な媒体を通じて情報発信に努めて参ります。
			3	・ 特に畜産で、若者が2代目だがちょっと違った形でやってみたいという人がいる。ぜひそういう人を応援してほしいと思う。【議事録P18】 ・ 若い方々は、生産、発信ぐらいまではできるが、その先の販路拡大などの好策を見つけれないで、市場に出荷して終わりとか、肉屋さんに全部お任せとか、そういった方が非常に多い。その先を手伝うことができれば、手元に入るお金の金額が違うと思う。【議事録P19】	若手畜産事業者の販路拡大支援	農林畜産課	①対応済	国の補助制度やふるさと納税制度（市の返礼品としての取り扱い）等の情報提供を行うとともに、市の関係課との連携や、県、畜産関係団体とも情報共有を図りながら経営安定に向けた支援を行っています。 また、今年度の事業として予定している、「八戸地域畜産フードフェスタ」等で商品PRと消費及び販路の拡大を図って参ります。
			4	・ 畜産に関しては、これから大規模に行う方が多いと思う。青森県は他県に比べて規制が厳しいが、地球温暖化で、どんどん北の涼しい方に畜産系があがってきているので、この農業・畜産という分野は力を入れていった方が良いと思う。【議事録P19】	農業及び畜産業の支援強化	農林畜産課	①対応済	当市の畜産業は、夏季冷涼な気候や八戸飼料穀物コンビナートの立地により畜産業が発展しており、今後も成長が見込める産業と捉えております。 当市では、畜産業（養豚・養鶏）及び関連産業の振興を図るため、「八戸地域畜産関連産業振興ビジョン」を策定し各種施策に取り組んでおり、今後も継続して参ります。

区分	基本目標	展開する施策	意見 No.	意見の内容 (議事録より抜粋)	意見の概要	担当課	対応区分	対応状況 (対応・検討の内容)	
個別意見	基本目標 1 多様な就業機会を創出する、これを支える人材を育て活かす		5	・ 県内の大企業の工場でも、材料は周辺でとれた生産物をほんの一部しか使っていない。ほとんど他県から来ているものだと思います。当地域は、一大農産物の産地だと思うのに、近くの工場で使われていないというのは非常に残念だと思った。そのような企業に、当市の生産物を紹介できれば、事業者へ落ちるお金が全然違うと思う。【議事録P19】	県内に立地する大手食品加工事業者へ地元農産物の紹介	農業経営振興センター	①対応済	八戸産農産物の認知度向上及びブランド化を図るため、八戸いちごのマルシェや八戸ワインフェス・セミナーなどを開催しております。また、生産者から流通に関する相談があった場合には、生産者の状況にあわせて対応しております。今後もこれらの取組を継続するとともに、他品目を対象としたイベントの開催や県内企業への周知方法についても検討して参ります。	
		②中小企業及び小規模事業者の経営強化と企業の立地促進	6	・ 基本目標 1【施策 1】②中小企業及び小規模事業者の経営強化に対する K P I としてコーディネーター活用件数だけであれば、この施策の進捗状況を把握することに無理があると思う。この施策に関して各種補助事業や支援事業が掲げられているので、これらを利用した、活用した事業者数と、八戸市から支援を受けた企業に対しアンケート調査を行い、経営強化・課題解決につながった等と回答した企業数を K P I に設定したらどうか。【議事録P12】 ・ 企業の経営強化というのは、まち・ひと・しごとを考える上では、大きなポイントだと思う。企業の成長、発展、そして働く場所があるということが、地方創生、地方の活性化を大きく担うと思うので、これらに関する企業に対する支援強化の施策については、K P I の設定や弱いところ、不足しているところの効果検証を確実にやり、見直しを常にかけていただきたい。【議事録P14】 ・ K P I がコーディネーター活用件数だけだと、本当にごく一部だと思う。金融機関等もビジネスマッチングや地域連携などを取り組んでいるので、実際の数字はもっと大きいと思う。それをまとめるような工夫をして、参考情報として把握しておくべき。【議事録P15】	中小企業及び小規模事業者の経営強化施策の K P I の見直し	政策推進課 商工課	④検討中	KPIについては、施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標であることから、当該施策の進捗を検証する上で有効な指標を設定する必要があります。委員ご指摘の通り、コーディネーター活用件数だけでは進捗を検証する上で不十分だと認識しておりますが、策定時においては、アウトカム指標で毎年数値を把握できる適切な指標がなかったことから、現在の指標となっております。今後、委員からの意見を踏まえ、KPIとして設定が可能かを検討するとともに、企業に対するアンケートについて令和3年度中の実施を検討いたします。 中小企業及び小規模事業者の経営強化に関する事業においては企業訪問のみならず、それに伴う国や県への補助金申請支援や、販路開拓支援、企業のシーズ、ニーズマッチング等、KPIの数値のみでは見えない内容が多々含まれております。今回ご指摘のありましたように、これらの企業支援の内容においては随時効果検証を行い、企業のニーズに沿った支援を実施して参ります。 金融機関等地域支援機関における活動による中小企業及び小規模事業者の経営強化が図られていることは承知しております。一方その内容は多岐にわたるため、一本化しKPIを設定することは難しいと考えます。金融機関等の支援機関等とは「八戸圏域産学官金連携会議」による連携を行っていることから、今後も企業支援についての情報共有を図ってまいります。	
		③販路の拡大と八戸港の物流機能							
	【施策 2】雇用・起業・事業承継の促進								
		①雇用・就業の支援							
		②起業の促進							
		③事業承継の促進							
	基本目標 2 新しいひとの流れをつくる	【施策 1】移住・人材還流・若者定着の促進							
			①移住・U I J ターンの促進						
			②高等教育機関等との連携や若者の地元定着の促進						
【施策 2】地元とのつながりの拡大									
		①地域の魅力の情報発信の充実	7	・ 市の公式 SNS に関して、どんなものがあるのか、全部知っている方はいないと思う。こういうものがあるという紹介がないと気付かないところだと思うので、PRは必要だと思う。市内の方がそれに「いいね」して、県外の方がその繋がりで広がって、横に広がっていくと思うので、公式 SNS の種類や内容のPRをするべき。【議事録P15】	市公式SNSのPR	広報統計課	①対応済	広報はちのへをはじめとした市発行物に各SNSのリンク先やQRコードを記載するなどし、市公式SNSのPRを行っておりますが、PR方法を拡充しながら、引き続き周知してまいります。	
		8	・ SNS の登録人数が人口に対して低すぎる。目標の45,000人というのもそうだが、もうちょっと増やしていこうと思う意識が必要だと思う。【議事録P18】	登録者数を増やすための取組	広報統計課	①対応済	市公式SNSについて、広報はちのへに各SNSのリンク先やQRコードを記載するなどPRを行っておりますが、機会を捉えてPR方法を拡充してまいります。また、市政のお知らせのほか、スポーツや文化、新型コロナワクチンの情報、災害情報など多様な情報を投稿してまいりたいと考えています。		
	②「関係人口」の創出・拡大								
	③当市を応援する企業との連携強								

区分	基本目標	展開する施策	意見 No.	意見の内容 (議事録より抜粋)	意見の概要	担当課	対応区分	対応状況 (対応・検討の内容)						
個別意見	基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	【施策1】安心して子どもを産み育てられる環境の整備			<p>・この指標を見ると、この地域で子育てをしたいという内容があるが、その理由をもっと掘り下げ、こういう所がいいや、逆にこういうところがあるといいなど、どこが盲点になっているか具体的なものを調査すれば、この数値が伸びると思った。【議事録P18】</p>	この地域で子育てをしたいと思う親の割合の要因の掘り下げ	健康づくり推進課 こども未来課 子育て支援課	③対応不可	<p>評価指標は厚生労働省「健やか親子21（第2次）」に掲げる問診項目の1つで、乳幼児期の健康診査時にアンケート調査として実施しているものであり、新たな調査を実施することは困難ですが、アンケート調査で子育てに不安や困難感がある方には、個別相談等で対応しております。</p> <p>なお、市では、子育て環境づくりを目的とした八戸市次世代育成支援行動計画の策定にあたって、5年毎に乳幼児及び小学生の保育や教育、子育て支援などに関するアンケート形式のニーズ調査を実施（令和5年度実施予定）し、子育てに関する各施策を進めております。</p>					
		①妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実	9											
		②結婚の希望をかなえる施策の充実												
		③ワーク・ライフ・バランスの推進												
		【施策2】女性活躍の促進、多文化共生の地域づくり												
		①女性活躍の促進												
		②多文化共生の推進												
		【施策3】誰もが活躍する地域社会の推進												
		①協働のまちづくり、市民活動の促進												
	②高齢者・障がい者等への支援の													
	基本目標4 住み続けたいまちをかたちづくる	【施策1】地域における安心の確立			<p>・基本目標4施策3で観光地域づくり・ブランディングの推進があり、様々な個別施策があるが、これに対してのKPIが宿泊者数というのが疑問である。実際にソフト事業はDMO（VISITはちのへ）で、市では施設の管理等をされていると思うが、その中で地域づくり・ブランディングが、どう結びついて進んでいるのか、また、それを計るのにこの宿泊者数というKPIを設定していることについて、関連性が見えないと感じている。【議事録P16】</p> <p>・今後、この観光地域づくり・ブランディングを推進するのであれば、時代の流れに沿って、更なる市とDMOの役割分担、施策やKPIの見直しが必要ではないかと感じた。【議事録P16～17】</p>	観光地域づくり・ブランディング推進のための施策、DMOとの役割分担、KPIの見直し	政策推進課 観光課	①対応済	<p>市では、観光地域づくり・ブランディングの推進を通して、当市の魅力や価値を県内外に伝えることで、当市の認知度の向上、更なる誘客の推進、ひいては宿泊客の増加につなげて参りたいと考えております。</p> <p>なお、KPIの「宿泊者数」については、入込客数や認知度等に比べ、当市を訪れる観光客の実態を正確かつ継続的に把握できること、また、消費額も日帰り客に比べ高く、当市への経済波及効果が大きいと考えられることから指標にしております。</p> <p>今後も、各種施策を通して地域の稼ぐ力を最大限に引き出すため、VISITはちのへと市の役割分担を明確にしつつ、連携・協力体制を強化して取り組んで参ります。</p>					
		①健康寿命の延伸に向けた施策の充実	10											
		②質の高い医療環境の整備												
		③防災力の強化												
		【施策2】拠点機能の強化と広域連携の推進												
①交通ネットワークの充実														
②広域連携の推進														
③コンパクトシティの推進、空き家・空き店舗対策の強化														
【施策3】観光地域づくり・ブランディングの推進														
①観光ブランドの強化と誘客の推進														
②観光客の受入態勢の整備														
③文化財等の保存・活用による地域活性化														
【施策4】時代にあった個性あふれる地域の形成														
①アートのまちづくり・本のまち八戸の推進														
②スポーツ・健康まちづくりの推進														
③中心市街地活性化、陸奥湊駅前地区活性化の推進														
④地方創生SDGsの推進														
⑤Society5.0に向けた未来技術の活用による生産性向上と新たな産業の創出														